

## 指定管理者の管理運営状況に関する評価について

### 1 施設所管課による評価

#### (1) 目的

指定管理者制度導入施設における指定管理者の管理・運営の状況、実績等を評価することにより、制度の適正な運用を図る。

#### (2) 評価方法

- ① 対象施設 指定管理者制度を導入している全施設（223 施設）  
※平成25年11月現在：1 施設追加により224施設に導入
- ② 対象内容 平成 24 年度の管理運営状況
- ③ 評価項目  
ア 個別評価…安定性、効率性、専門性、サービスの向上の4項目について  
選定区分ごとに4段階（3点～0点）で評価  
イ 総合評価…個別評価の合計点（満点12点）により4段階（S, A, B, C）で評価
- ④ 評価方法 指定管理者による自己評価を踏まえ、施設所管課が評価する。  
評価結果については、市民行政評価委員会における指摘を参考に施設間の調整を図る。

#### (3) 評価結果

- S（優れている）・・・ 37 施設  
A（適正である）・・・ 186 施設  
B（さらなる努力が必要）、C（改善すべき）・・・ なし

### 2 市民行政評価委員会による評価

#### (1) 目的

施設所管課の実施した評価について、市民行政評価委員会において、専門家や市民から意見を聴取することで、評価の客観性・有効性を高める。

#### (2) 評価方法

- ① 対象施設 次年度に選定作業を迎える施設の中で、過去に評価を実施していない施設や利用者が比較的多い施設等を対象とした。
  - ・ 金沢駅東・武蔵地下駐車場
  - ・ 金沢卯辰山工芸工房
  - ・ 金沢職人大学校
  - ・ 金沢健康プラザ大手町
  - ・ 鈴木大拙館
- ② 対象内容 平成 24 年度の管理運営状況に係る施設所管課の評価
- ③ 評価項目 施設所管課からのヒアリングを通じて、施設所管課が実施した評価が妥当であるかどうかを、客観的な視点から「過大」「妥当」「過小」の3区分で評価する。

#### (3) 評価結果

別紙のとおり

平成25年度 指定管理者の管理運営状況 市民行政評価結果

番号	施設名	指定管理者	所管課	施設概要	所管課評価	市民行政評価		
						所管課評価に対する評価	評価委員会における管理運営に対する意見	
1	金沢駅東・武蔵地下駐車場	北陸名鉄開発(株)	市街地再生課	<p>【目的】 道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資する。</p> <p>【概要】 ・金沢駅東駐車場 収容台数 353台（地上7階8層 自走式） ・武蔵地下駐車場 収容台数 194台（地下2階2層 自走式）</p>	A	<p>施設の運営や維持管理業務に当たっては、専門性を活かし適切に実施している。利用促進策に関しては、リーフレットを近隣ホテルや商業施設に配付するなど、積極的にPR活動を行っている。近隣商業施設のセール時には屋外にも人員を配置し渋滞の解消、交通の円滑化に寄与している。</p> <p>今後も専門性を活かした適切な業務の遂行や利用者の声を反映した提案等を期待する。利用促進により、利用台数は増加傾向にあり、北陸新幹線の開業を見据え、さらなる利用促進とサービス向上に向けた取組が必要である。</p>	<p>過大</p> <p>Ⓐ 妥当</p> <p>過小</p>	<p>近隣の施設や駐車場との連携、積極的な広報活動など、利用促進への取組により、利用台数が目標を上回っていることは評価できる。</p> <p>利用者アンケートの実施に当たっては、回答数が少ないことから、より多くのアンケートを回収し、市民ニーズの把握に努めるとともに、現在の割引サービスを拡充するなど、さらなる利用促進を図る必要がある。</p>
2	金沢卯辰山工芸工房	(公財)金沢芸術創造財団	文化政策課	<p>【目的】 金沢市の伝統工芸の源流である加賀藩御細工所の果たした機能と精神を受け継ぎ、伝統工芸の継承及び発展並びに芸術文化の普及及び振興を図り、もって個性豊かでかおり高い文化の向上に寄与する。</p> <p>【概要】 本館・展示館棟（展示室、ロビー、茶室、工芸サロン、文献資料室）、工房棟（陶芸・ガラス・漆芸・金工・染の各工房、研修室）、窯場（登窯、穴窯）、市民工房棟（市民工房室）</p>	A	<p>工芸の継承及び発展を図る場として、施設の特徴を十分に活かし、「風鈴作り」や「花器づくり」など、市民にも親しみやすい内容の教室を開催することで、積極的な事業展開をしている。</p> <p>これまでも、効率的な事業展開及び施設管理運営の推進に努めるとともに、金沢の工芸普及に貢献しているところである。今後も、一層ニーズにあった工芸講座を企画・開催し、本施設の魅力を高めてもらいたい。</p>	<p>過大</p> <p>Ⓐ 妥当</p> <p>過小</p>	<p>利用者アンケートにおいて、施設の全体的な満足度が目標を上回っていることは評価できる。</p> <p>一方で、展示内容の充実を期待する声が多いことから、これを踏まえつつ、施設の本来の目的である伝統工芸の継承と発展に努めるとともに、児童・生徒の利用促進、夜間教室の拡充など、工芸工房の認知度を高め、市民参加を促す仕組みをつくることにより、利用者数を増やしていく必要がある。</p>
3	金沢職人大学校	(公社)金沢職人大学校	歴史建造物整備課	<p>【目的】 金沢に残る伝統的で高度な職人の技の伝承及び保存並びに人材の育成を行い、歴史的建造物及び文化財建造物の修復等を通じ、匠の技への高い社会的評価と職人の地位向上、さらには伝統的文化に対する一般の理解と関心を深めることを目的とする。</p> <p>【概要】 実習棟、第2実習棟、教材倉庫、長町研修塾</p>	A	<p>管理運営については、市民芸術村と連携しながら適切に実施している。研修生の受講については、専門講師の指導のもと、適切に行われているほか、金沢市より歴史的建造物の学術調査や修復事業を受託するなど、職人の伝統技術の伝承及び文化財等の修復・保存に寄与している。</p> <p>これまでも経費削減を図りながら適切な管理運営を実施するとともに、事業内容の充実も図ってきているが、今後より一層内容を充実させるとともに、職人の技術・文化に対する理解と関心を深めるため、市民や子ども向けの体験講座の利用促進に一層の工夫を凝らしていく必要がある。</p>	<p>過大</p> <p>Ⓐ 妥当</p> <p>過小</p>	<p>特別事業の市民公開講座について、受講者の人数や満足度が、ともに目標を上回っていることは評価できる。</p> <p>目標の設定について、大学校の本科、修復専攻科に関して設定されていないことから、設定内容を見直し、高度な職人の技の伝承及び保存の取組を充実していく必要がある。</p>
4	金沢健康プラザ 大手町	(公財)金沢総合健康センター	健康総務課	<p>【目的】 すべての市民が健康で生きがいを持って自立した生活を送ることができるよう、保健、医療及び福祉の連携による市民の主体的な健康づくりを推進する。</p> <p>【概要】 東館1階（情報ルーム、健康スタジオ、スタッフルーム、医学発祥の地展示コーナー）、同2階（公益社団法人金沢市医師会）、同3階（健康相談室、研修室）、同4階（大研修室）</p>	A	<p>計画的に職員が健康運動指導士の資格取得を図る等スキルアップを図り、健康づくりのためのサービスの質の向上に努めている。また、利用者アンケートの結果を事業に反映するなど、魅力ある事業の実施に努めており、地域や関係機関と連携し、積極的に利用促進を図っている。健康スタジオ開放についても、利用者の満足度も高く、開館以来、安定した利用者数を確保している。</p> <p>これまでも、利用者のニーズを的確に把握しながら健康づくりのためのサービスの質の向上と利用促進を図り実績をあげている。今後も引き続き利用者のニーズに沿った魅力ある健康増進事業を展開し、関係団体等と連携しながらさらに事業内容の充実を図り利用者の増加を目指してもらいたい。</p>	<p>過大</p> <p>Ⓐ 妥当</p> <p>過小</p>	<p>利用者数が増加していることに加え、利用者の安全に配慮し、適切に管理運営していることは評価できる。</p> <p>今後は、利用者アンケート等により市民ニーズを把握のうえ、高齢化のさらなる進展を見据えたサービスの提供を図るとともに、より多くの市民に利用されるよう取り組む必要がある。</p>
5	鈴木大拙館	(公財)金沢文化振興財団	企画調整課	<p>【目的】 郷土が生んだ仏教哲学者鈴木大拙の考えや足跡を広く市民をはじめ国内外の人々に伝えることにより、その人物についての理解を深めるとともに、思索の場として利用に供し、もって本市の文化の振興に資する。</p> <p>【概要】 玄関棟（玄関ホール、事務室等）、展示棟（展示室、展示兼学習室）、思索空間棟（思索空間）、回廊（内部回廊、外部回廊）、水鏡の庭</p>	A	<p>施設の運営や維持管理業務に当たっては、建築景観を生かした適切な管理が実施されている。事業面においても、積極的な広報活動や企画展、自主事業の開催等により、開館年より継続して入館者数が目標値を約4割上回っている。接遇研修に加えて、朝礼・終礼時での問題提起や伝達研修等を実施し、常に事業の見直しを行うことにより、利用者満足度も93%と目標を達成した。</p> <p>開館から1年半が経過し、今後も積極的な自主事業の展開により、リピーターの増加につなげることや、その建築意匠の魅力に加え、金沢を代表する文化施設の一つとして、国内外の関係機関・団体との交流をより深める取組等を通じてさらに魅力を磨き高め、発信されるよう、引き続き努められたい。</p>	<p>過大</p> <p>Ⓐ 妥当</p> <p>過小</p>	<p>企画展の開催や多岐にわたる事業の開催により、目標を大きく上回る利用者数を確保したことは評価できる。</p> <p>今後は、さらなる施設の魅力向上や、情報発信の強化による安定的な収入や来場者数を確保する取組が重要となるとともに、市民や企業を巻き込む努力をしていく必要がある。</p>

※「利用者アンケート」・・・市民サービスの一層の向上と施設の利用促進を図るため、「職員の対応」や「清掃状況」といった施設のサービスに関することや全体的な満足度、施設に期待すること等について伺うもの。